

## 公益信託世田谷まちづくりファンド

### 第20回助成事業 災害対策・復興まちづくり部門 審査講評

#### 福島の子どもたちとともに・世田谷の会

こどもたちの生命を脅かす重大な事態に対して、多くの大人が集まり具体的な行動を開始する。当然のことかもしれませんが、しかしこの当然のことを実践されていることに頭が下がります。子ども達が世田谷で楽しい春休み、夏休みを過ごし、世田谷を愛してくれるといいですね。また市民レベルでの定住サポートの提案は、子ども達とその家族だけでなく、彼らを受け入れる世田谷の町を美しくするだろうと、強く思いました。報告会を楽しみにしています。

世田谷区内で子どもたちのために活動する人やグループが集まってできたこのネットワークは、その設立経緯自体が非常に尊重すべきものであり、とても世田谷らしい活動と感じました。また、なかなか外で遊ぶことのできない福島の子どもたちにリフレッシュしてもらおうという活動内容自体も重要であり、区内公園や文化施設など世田谷の地域資源をうまく活用していて好感が持てます。ただ、宿泊施設の問題で子どもたちの受け入れにも限りがあることから、現地・区内の関係各所とも緊密に連携を取りながら、根本的な解決へ向けての活動も視野に入れつつ活動してほしいと思います。また、空き家の活用がうまくいけば、福島の子どもたちだけでなく、世田谷の様々な活動グループにとっても将来的に役立つことと思います。一年の活動の成果と世田谷への提言を楽しみにしています。

放射能に関する問題に向き合うのは非常に難しいと思われます。そういった中でも現地と交流を持ち、課題抽出をし、さらには子どもたちの支援を中心に支援を考えられたのが良かったと思います。受け入れ規模や費用など課題もあるようですが、福島と世田谷の交流が深まること、そしてこの活動を通じて得た発見や気づきのフィードバックを期待しています。

「子ども」に関する世田谷の市民活動団体の層の厚さ、力強さを団体の構成や企画に感じました。また、原発事故の一番の被害者は子どもであり、その保護者であることに改めて気づいてもらうメッセージ性のある取り組みだと思えます。保養プランのプログラムとか、定住支援の内容とか、報

告で聞きたいことがたくさんあります。楽しみにしています。

様々な活動グループがかかわり、ネットワークの広がりを感じます。

どのような災害であろうと、避難は起こりうることでこうした活動は重要なことと考えます。また、区への還元も大いにありそうな活動です。

東日本大震災での放射線量の高い地域に対していかに心のケアも含めて支援していくか？ これは日本に住む私たち全体に課せられた課題だと思います。世田谷での幅広いネットワークと活動実績をふまえて横断的な取り組みをしようとするこの活動に期待しています。